2025年度　第一回地域支えあい研修アンケート結果　※回答数37（当日参加者42名中）

１．研修の結果はどうでしたか？

・とても解りやすかった　（73%）　・解りやすかった　（27%）

２．研修の日程・時間設定はどうでしたか？（2025.7.16 18:00～19:45）

・とても良かった　（27%）　・良かった　（59%）
・やや悪かった　（14%）

３．今回の研修について、ご意見、ご感想などご記入ください。（一部抜粋）

・お勧めの防災食を教えてください。

立場上、特定の商品をお伝えすることはできませんが、ローリングストックとして多めに買っておくことをお勧めします。発災時には多くの支援物資が届きますが、自分の好きな物があるとは限りません。そんな中で、自身の好みの物を食べれる状況があるだけでストレスを軽減できますし、「備蓄品としての備蓄」ではなく「普段から食べてる物を多めに買う」だけなので、普段の生活においてもストレスになりません。従前の乾パンなどのいわゆる保存食も悪くはないですが、特別に何かを用意するという意識よりも普段の生活の延長の方が意識しやすいと思います。

・保土ケ谷区は20万人の人口に障害者手帳保持者が1万人以上、65歳以上の高齢者が27%ですが、死者、負傷者、重傷者の想定がとても少ない印象です。 また、在宅避難者も防災拠点で物資を受け取れることは拠点の運営委員会にも周知・浸透されていることなんでしょうか？

『保土ケ谷区は20万人の人口に障害者手帳保持者が1万人以上、65歳以上の高齢者が27%ですが、死者、負傷者、重傷者の想定がとても少ない印象です。また、在宅避難者も防災拠点で物資を受け取れることは拠点の運営委員会にも周知・浸透されていることなんでしょうか？』被害想定は複雑な計算等により算出されています。下記URLに全ての報告書が公開されており、当日資料に記載しているわいわい防災マップの震度想定なども併せてご確認ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/data/shiryodata/jishinjoho/higai/jishinhigai.html

なお、被害想定は今年度中に見直す予定です。在宅避難者による拠点での物資受取については拠点運営委員会に周知しています。配付方法等は拠点ごとに異なるので、詳細については該当拠点運営委員会にご確認ください。拠点運営委員は自治会町内会等の役員が兼ねていることが多いです。お伝えしたとおり、拠点は共助にて運営されていますので、在宅避難者も物資の受取りの際などにはお手伝いなどについてお声掛けすることが重要です。

※上記２つの質問については講師の早坂氏、板倉氏からの回答を添えさせていただいています。

その他には、

・「防災訓練」「避難生活」「BCP」等における実践的な話が聞けて良かった。
・他事業所の防災に関する取り組み、悩みを知ることができてよかった。
・地域との関わりの大切さや、地域連携の重要性を考えさせられた。
・自事業所の防災対策やBCPなどについて色々と課題が見え、振り返りをする良い機会となった。

といった感想を多くいただきました。また、開催日時や研修のタイムテーブルなどについてのご意見もいくつかいただいております。これらはしゃべるーむ・研修部の合同会議にて振り返りをさせていただき、次回以降の支えあい研修の参考にさせていただきたいと思います。

４．次回（2025年度下半期）の地域支えあい研修にて取り扱ってほしいテーマなどありましたらご記入ください。（割愛）

今回の研修テーマを更に掘り下げたものを聞きたいといったご希望から、制度の話や事業所内の悩み、何か特定の障害をテーマにしてほしいなど、様々なご意見をいただきました。

これらは次回以降の地域支えあい研修のテーマの参考にさせていただきたいと思います。